

第 25 期日本学術会議総合工学委員会
第 6 回 ICO 分科会
議事要旨(公開版)

日時:令和 5 年 7 月 10 日(月)11:30~12:30

場所:日本学術会議 会議室6-A(1)

出席者:荒川泰彦委員長、馬場俊彦、松尾由賀利;各幹事、河田聡、笹木敬司、中野義昭、
保立和夫、美濃島薫、谷田貝豊彦、山内薫;各委員

配布資料

- 6-1 第 5 回総合工学委員会 ICO 分科会議事要旨
- 6-2 ICO の活動について
- 6-3 シンポジウムの開催について

議題

1) 前回議事要旨の確認

資料6-1にもとづき、松尾幹事が前回議事要旨を説明、確認した。

2) ICO 経過報告

美濃島委員より、資料6-2にもとづき、前回 2023 年 3 月 14 日委員会以降の ICO の状況が報告された。主な内容は以下のとおり。

1. International Science Council (ISC) の活動に関する意見交換・交流会が 2023 年 3 月 28 日にオンラインで開催された。参加者は 54 名。日本学術会議関係者からは ISC 副会長、分科会、加盟国際ユニオンメンバーらが参加した。
2. ISC Regional Focal Point for the Asia Pacific (RFP-AP)が発足する。ホストは the Australian Academy of Science。6 年間で、1,030 万オーストラリアドルの政府サポートがあり、年 2 回の会合が行われる予定である。
3. 次回の ICO Bureau Meeting は、Optics & Photonics Africa 2023 と同時開催される。当該会議は、南アフリカ White River で 2023 年 11 月 6~10 日に開催。
4. ICO-26、XXVI International Commission for Optics, World Congress はセネガルの Dakar にて、2024 年 9 月 30 日~10 月 4 日に開催。
5. ICO Prize が現在選考中。対象者は 40 歳未満。

3) 日本学術会議状況報告

中野委員より、2023 年 3 月 14 日以降の学術会議の状況について、報告があった。主な内容は以下のとおり。

1. 次期会員、連携会員選考については、通常どおりのプロセスを進めている最中である。
2. 第三部夏季部会が 2023 年 8 月 20-21 日に福井県立大学で開催予定。恐竜博物館のある場所で、併催されるシンポジウムのテーマは地元の高校生たちにも興味をもってもらえると期待。
3. 学術会議のあり方について、3/14 以降も内閣府からの説明が複数回あった。4 月 17-18 日の総会

では「声明」と「勧告」が発出された。7月16日に臨時総会が開催される予定。

4) ICO シンポジウムについて

資料6-3にもとづき、馬場幹事から、本日午後開催されるシンポジウム「光がもたらす未来社会～ICOの新たな発展に向けて～」について説明があった。主な内容は以下のとおり。

1. 5件の講演は全て、「光と〇〇」というタイトルで、光科学の広い分野をカバーしている。
2. ポスター発表は80件で、これまでの最大規模である。
3. 事前参加登録者数は約250名。

5) 今後の活動について

荒川委員長より、今期としては今回が最終回の委員会となるが、必要な事項については今後もメールでお諮りする可能性があることが説明された。

(松尾記)